

# 決算補足説明資料

FY24 2Q

2024年8月9日

ノーリツ鋼機株式会社  
証券コード：7744（東証プライム市場）

**NORITSU**

# Contents

1. FY24 2Q累計連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. トピック

## 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている当社の現在の計画、戦略等のうち、歴史的事実でないものは、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。実際の業績は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。

## 事業EBITDAについて

事業EBITDAは、営業利益から、その他の収益・費用を加減し、減価償却費及び償却費（使用権資産の減価償却費を除く）を加えて算出しております。

連結財務諸表上に定義されていない指標であるものの、非経常的な損益や償却費に左右されない企業の本来の収益力を示すことから、連結財務諸表の利用者がノーリツ鋼機の業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しております。

## 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

当期利益：親会社の所有者に帰属する四半期/当期利益

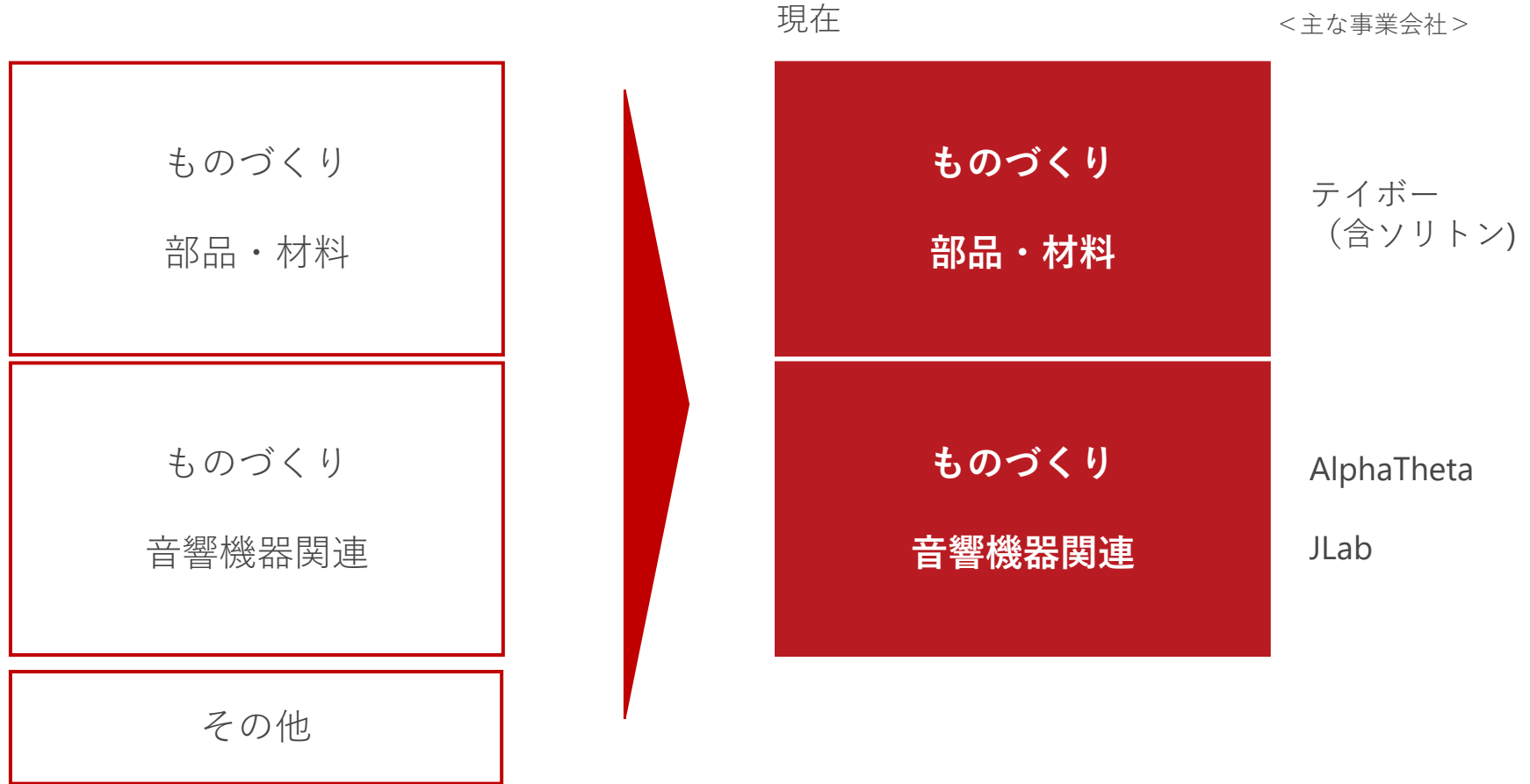
FY22：2022年12月期

FY23：2023年12月期

FY24：2024年12月期

## ■ セグメント変更について

- プリメディカの株式譲渡に伴い、FY24 2Qから「その他」のセグメントを廃止
- 廃止に伴い「その他」セグメントは前期から遡及して非継続事業に組み替えて表示



## FY24 2Q累計 連結業績

- 音響機器関連事業の成長及び円安効果により、増収増益
- 5/10付修正予想に対しても大きく上回る実績
- 個社別では、テイボーはほぼ横ばいも、AlphaThetaとJLabは増収増益。堅調な販売とコストの減少等により、売上収益、事業EBITDAが1Qから更に伸長
- プリメディカの全株式を5/31付で譲渡、株式売却益を当期利益に反映

## FY24 通期連結業績予想

- 上半期に計上した為替評価益の一部取り崩し、ならびに販売の一部先取り可能性を下半期に織り込んでなお、通期では事業進捗等のプラス影響の方が大きいことから、5/10付通期連結予想を更に上方修正
- Seratoの株式取得については中止したものの、業績への影響は軽微
- 個社別では、テイボーは下方修正。AlphaThetaとJLabは上方修正
- 配当性向40%以上とする目標に変わりはないが、現時点では配当予想の変更は行わない

# Contents

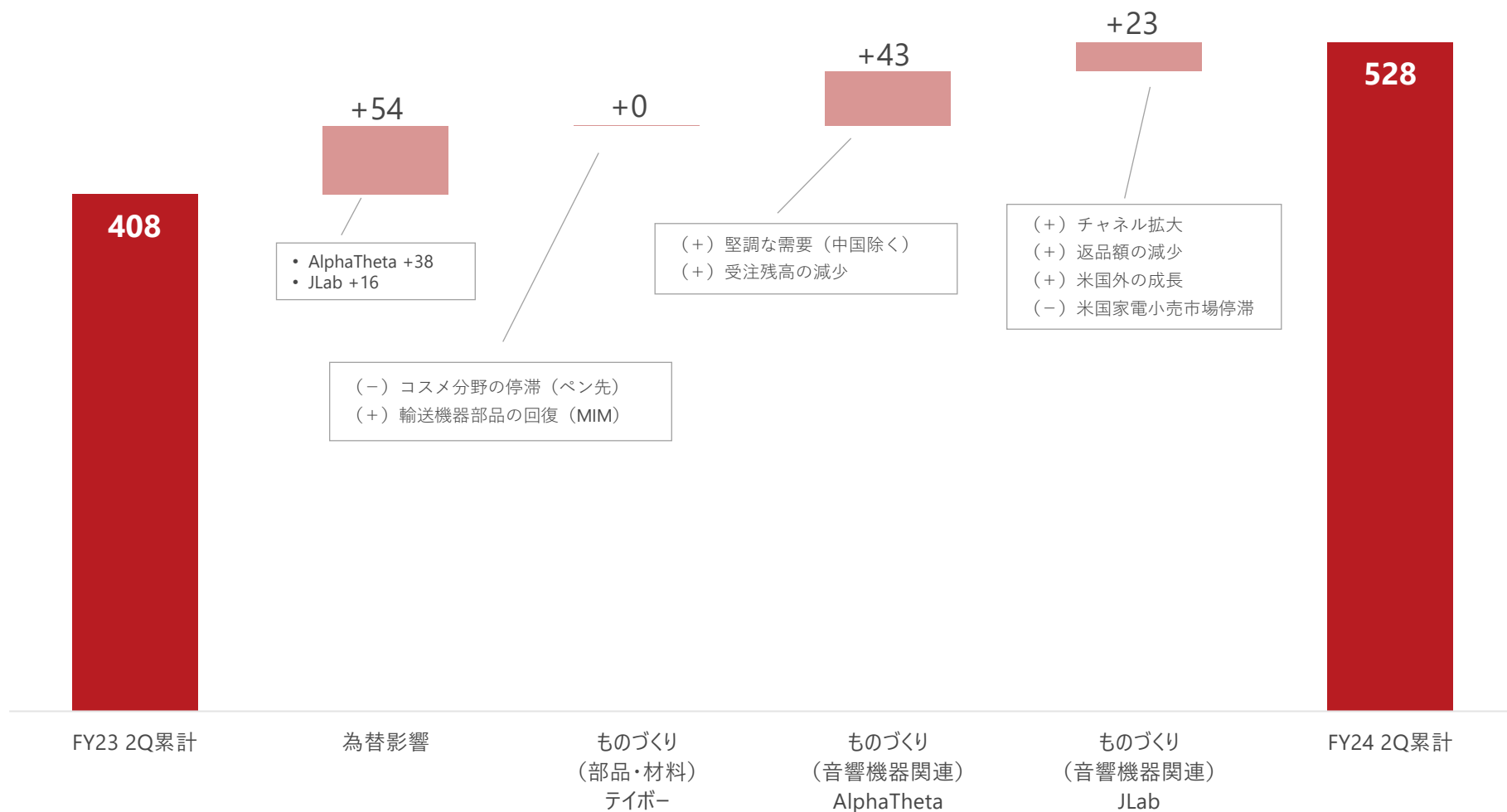
1. **FY24 2Q累計連結業績**
2. **FY24 通期連結業績予想**
3. **トピック**

- 音響機器関連事業の成長及び円安効果により、増収増益
- 5/10付修正予想に対しても大きく上回る実績
- プリメディカの全株式を5/31付で譲渡、株式売却益を当期利益に反映

単位：百万円	FY23 2Q累計	FY24 2Q累計	増減額	増減率
売上収益	40,793	<b>52,763</b>	+11,970	+29.3%
事業EBITDA	7,969	<b>14,040</b>	+6,070	+76.2%
事業EBITDAマージン	19.5%	<b>26.6%</b>	+7.1%	-
営業利益	7,347	<b>13,879</b>	+6,532	+88.9%
当期利益	4,454	<b>11,484</b>	+7,029	+157.8%
為替レート (平均)	米ドル (円) 134.9	<b>152.3</b>	+17.4	-
	ユーロ (円) 145.8	<b>164.6</b>	+18.8	-
為替レート (期末)	米ドル (円) 145.0	<b>161.1</b>	+16.1	-
	ユーロ (円) 157.6	<b>172.3</b>	+14.7	-

対前年同期

単位：億円

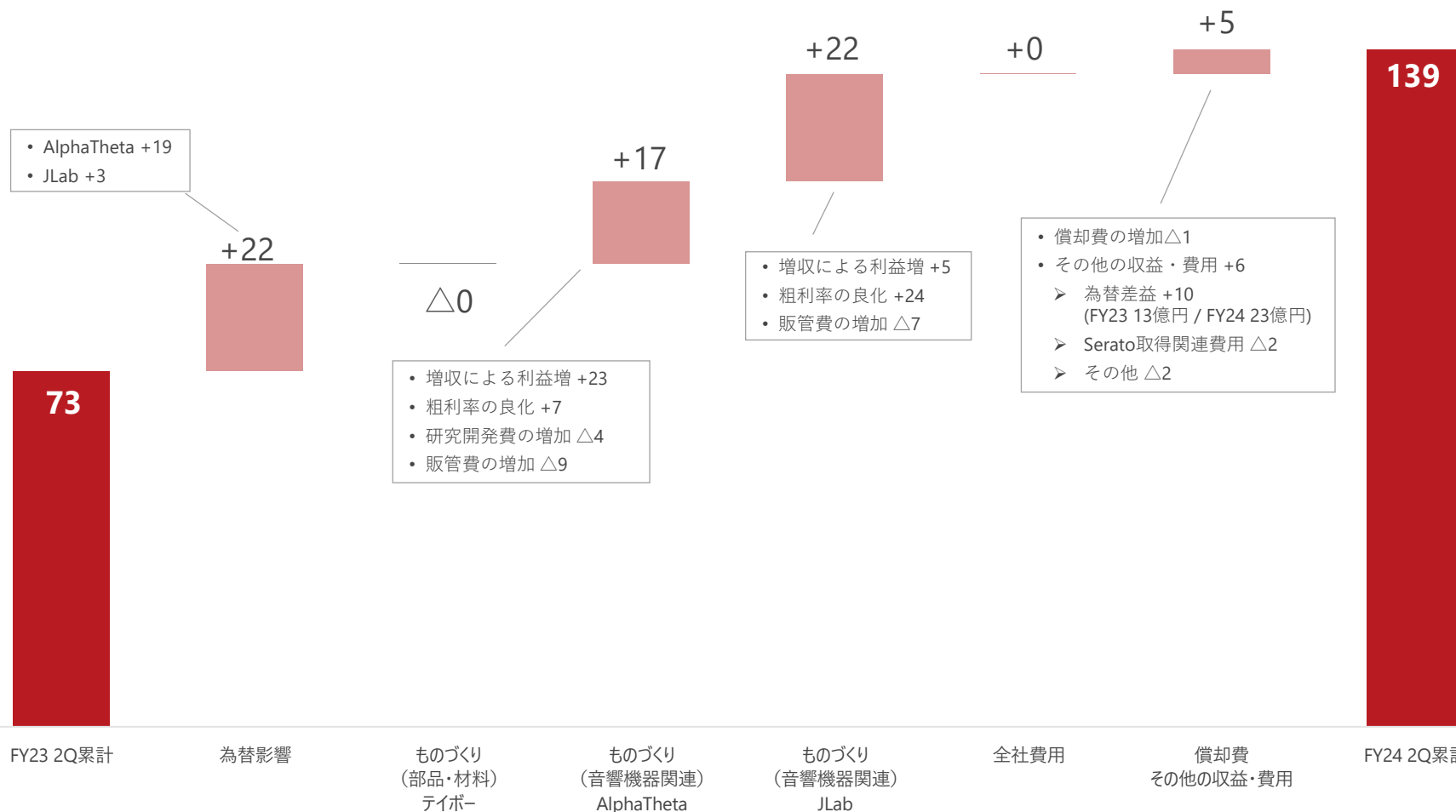




単位：億円

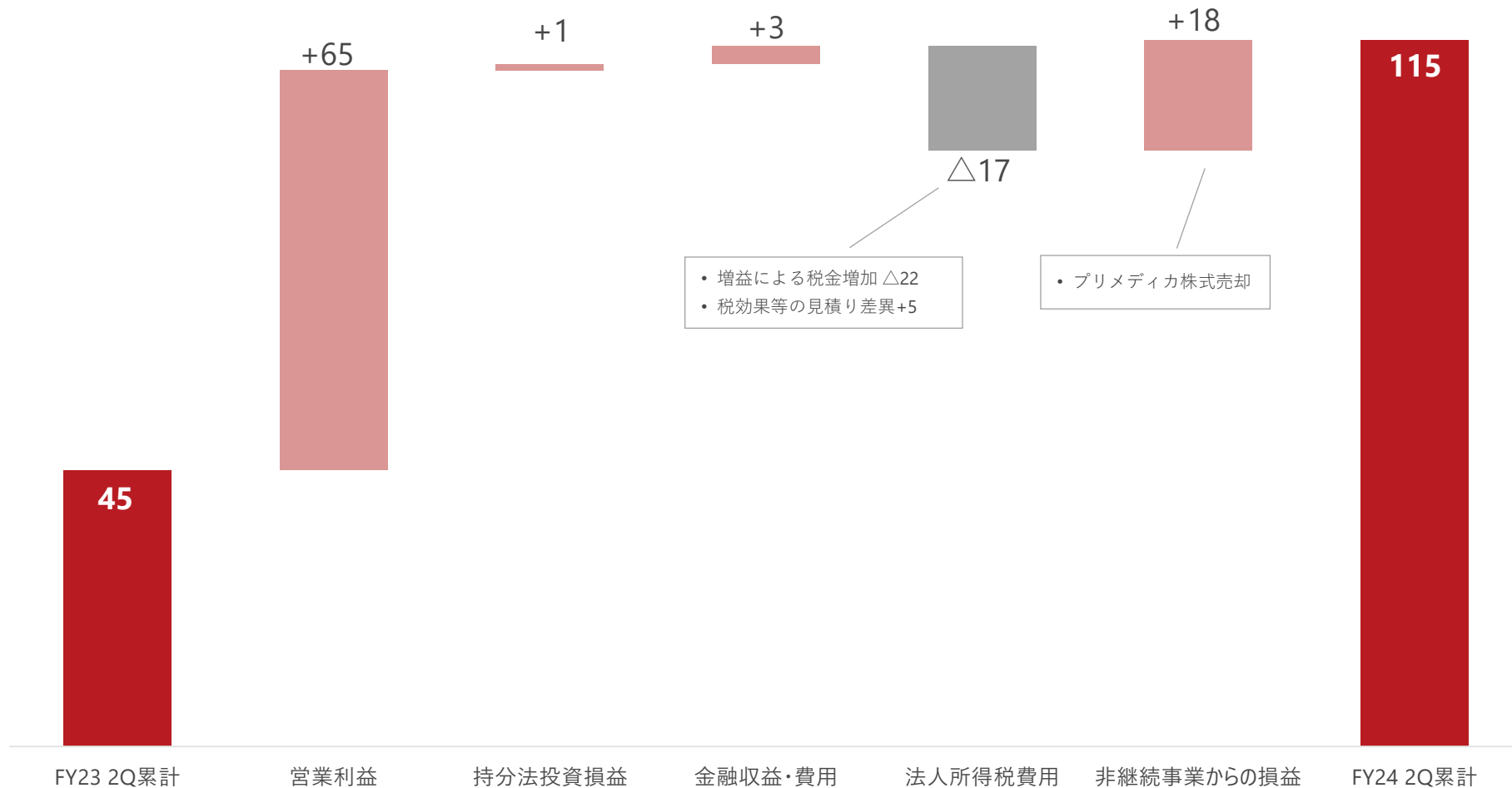
対前年同期

事業EBITDA +61



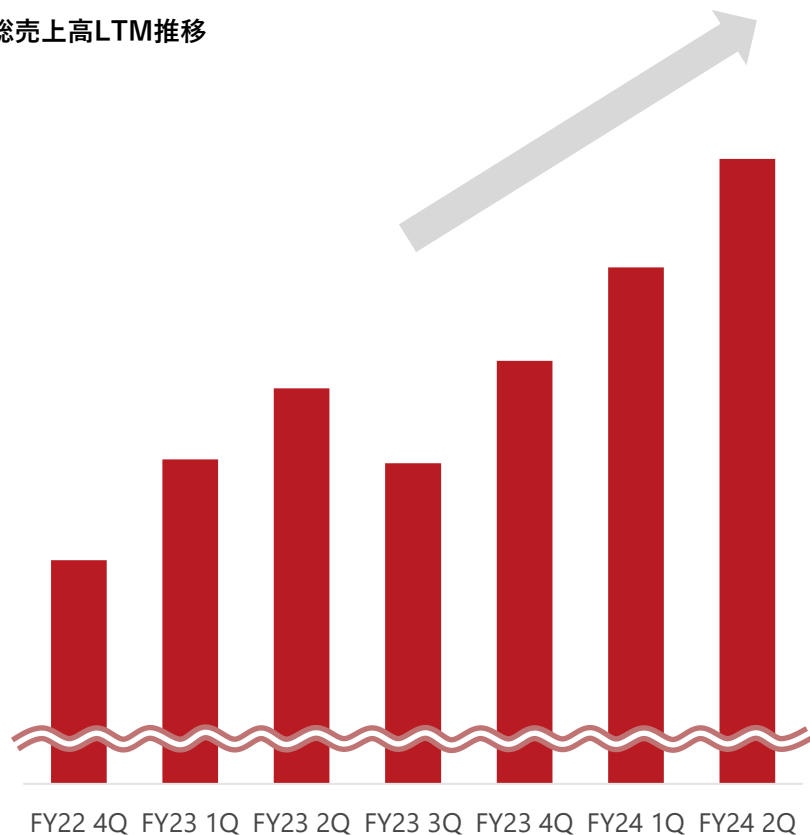
対前年同期

単位：億円

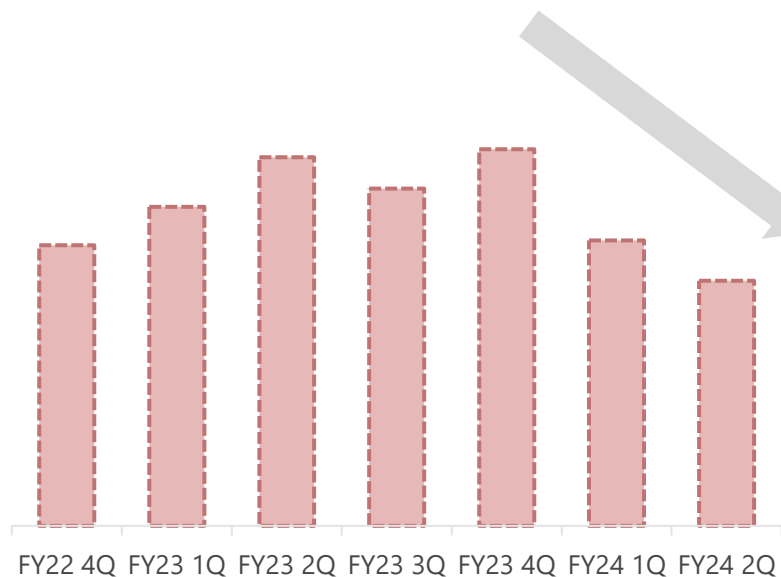


FY23以降、品質改善や在庫管理の強化等を進めた結果、総売上高が伸びているのに対して、返品額は減少

### 総売上高LTM推移



### 返品額LTM推移



\*LTM：Last Twelve Months（直近四半期から過去12ヶ月）

法人税等の還付もあり、現金及び現金同等物が増加

## バランスシート

単位：百万円	FY23	FY24 2Q	増減額
現金及び現金同等物	70,190	<b>95,339</b>	① +25,149
売上債権及びその他の債権	14,683	<b>15,378</b>	+694
棚卸資産	17,164	<b>19,076</b>	+1,912
のれん	49,256	<b>50,662</b>	+1,406
無形資産	77,125	<b>78,583</b>	+1,457
その他資産	51,051	<b>35,239</b>	② △15,811
資産合計	279,471	<b>294,280</b>	+14,808
仕入債務及びその他の債務	6,454	<b>7,743</b>	+1,288
借入金	39,016	<b>36,016</b>	△3,000
その他負債	28,155	<b>30,560</b>	+2,404
負債合計	73,626	<b>74,320</b>	+693
資本合計	205,844	<b>219,959</b>	+14,115

## 主な増減要因

- ① 現金及び現金同等物 +251億円
  - ・ 営業CF +264億円
    - － 事業EBITDA +140億円
    - － 営業活動に係る資産・負債の増減 +4億円
    - － 法人所得税費用の支払額及び還付額+110億円
  - ・ 投資CF +29億円
  - ・ 財務CF △70億円
    - － 借入金の返済 △30億円
    - － 配当金の支払い △32億円
- ② その他資産 △158億円
  - ・ 未収還付法人税等 △119億円

## 財務健全性

有利子負債	39,016	<b>36,016</b>	△3,000
現金性資産	91,700	<b>112,814</b>	+21,113
Net Debt	△52,684	<b>△76,798</b>	△24,113

セグメント別業績は下記のとおり

単位：百万円		FY23 2Q累計	FY24 2Q累計	増減額	増減率
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	5,808	<b>5,843</b>	+34	+0.6%
	事業EBITDA	1,522	<b>1,522</b>	△0	-0.0%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	34,984	<b>46,919</b>	+11,935	+34.1%
	事業EBITDA	6,938	<b>12,997</b>	+6,058	+87.3%
AlphaTheta	売上収益	25,184	<b>33,260</b>	+8,076	+32.1%
	事業EBITDA	7,053	<b>10,694</b>	+3,640	+51.6%
JLab	売上収益	9,800	<b>13,658</b>	+3,858	+39.4%
	事業EBITDA	△115	<b>2,302</b>	+2,418	-
全社費用	事業EBITDA	△491	<b>△479</b>	+12	-
連結合計	売上収益	40,793	<b>52,763</b>	+11,970	+29.3%
	事業EBITDA	7,969	<b>14,040</b>	+6,070	+76.2%

# Contents

1. FY24 2Q累計連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. トピック

5/10付修正予想からの主な変更点は下記のとおり

## 全事業共通

- 為替について、通期では5/10付修正予想より円安の想定で、米ドル148.6円、ユーロ161.3円
- 3Q以降は5/10付修正予想と同じ米ドル145円、ユーロ158円の前提

## ものづくり（部品・材料）/テイボー

- 通期予想を下方修正
- ペン先のコスメ分野の停滞等を反映

## ものづくり（音響機器関連）/AlphaTheta

- 通期予想を上方修正
- 2Qの上振れは、先取りの前提で予想に反映
- 為替影響を反映

## ものづくり（音響機器関連）/JLab

- 通期予想を上方修正
- 2Qの上振れは、一部先取りの前提で予想に反映
- 為替影響を反映

## その他

- プリメディカの株式売却を予想に反映（非継続事業からの損益で認識）

上半期に計上した為替評価益の一部取り崩し（2Q累計約23億円→通期約2億円）、ならびに販売の一部先取り可能性を下半期に織り込んでもなお、通期では事業進捗等のプラス影響の方が大きいことから、5/10付通期連結予想を更に上方修正

単位：百万円		FY24 5/10付修正予想	FY24 8/9付修正予想	対5/10付修正予想	FY23	対前期
売上収益		103,500	<b>103,700</b>	+200	90,052	+ 15.2%
事業EBITDA		21,000	<b>21,500</b>	+500	17,696	+ 21.5%
事業EBITDAマージン		20.3%	<b>20.7%</b>	+0.4%	19.7%	+1.0%
営業利益		16,000	<b>16,800</b>	+800	14,388	+ 16.8%
当期利益		10,300	<b>13,000</b>	+2,700	10,199	+27.5%
為替レート (平均)	米ドル (円)	145.9	<b>148.6</b>	+2.7	140.6	+8.0
	ユーロ (円)	158.8	<b>161.3</b>	+2.5	152.0	+9.3
為替レート (期末)	米ドル (円)	145.0	<b>145.0</b>	-	141.8	+3.2
	ユーロ (円)	158.0	<b>158.0</b>	-	157.1	+0.9

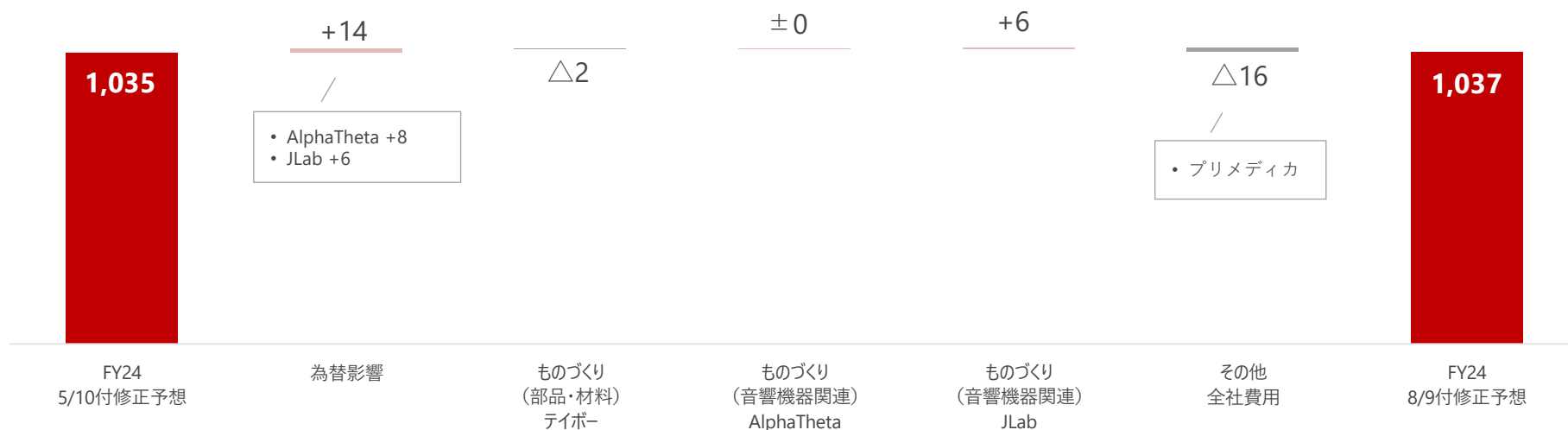


- テイボーは、下方修正
- AlphaTheta、JLabはいずれも上方修正

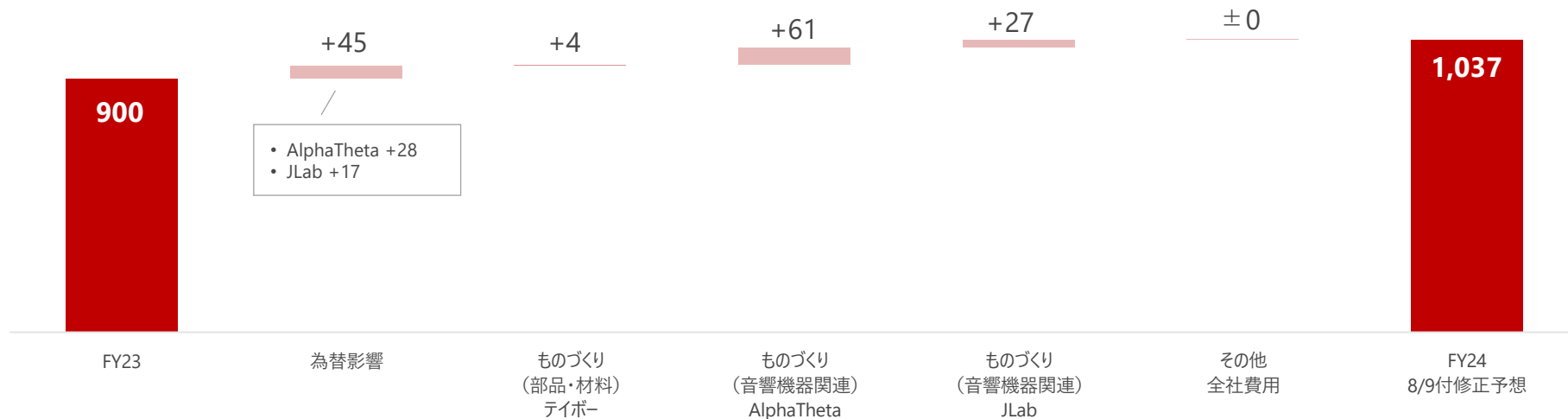
単位：百万円		FY24 5/10付修正予想	FY24 8/9付修正予想	対5/10付修正予想	FY23	対前期
ものづくり (部品・材料) テイボー	売上収益	12,400	<b>12,200</b>	△200	11,781	+3.6%
	事業EBITDA	3,500	<b>3,200</b>	△300	3,198	+0.0%
ものづくり (音響機器関連)	売上収益	89,500	<b>91,500</b>	+2,000	78,270	+16.9%
	事業EBITDA	18,600	<b>19,600</b>	+1,000	15,814	+23.9%
AlphaTheta	売上収益	60,000	<b>60,800</b>	+800	51,930	+17.1%
	事業EBITDA	15,400	<b>15,700</b>	+300	13,352	+17.6%
JLab	売上収益	29,500	<b>30,700</b>	+1,200	26,340	+16.6%
	事業EBITDA	3,200	<b>3,900</b>	+700	2,462	+58.4%
その他・全社費用	売上収益	1,600	-	△1,600	-	-
	事業EBITDA	△1,100	<b>△1,300</b>	△200	△1,316	-
連結合計	売上収益	103,500	<b>103,700</b>	+200	90,052	+15.2%
	事業EBITDA	21,000	<b>21,500</b>	+500	17,696	+21.5%

## 対5/10付修正予想

単位：億円

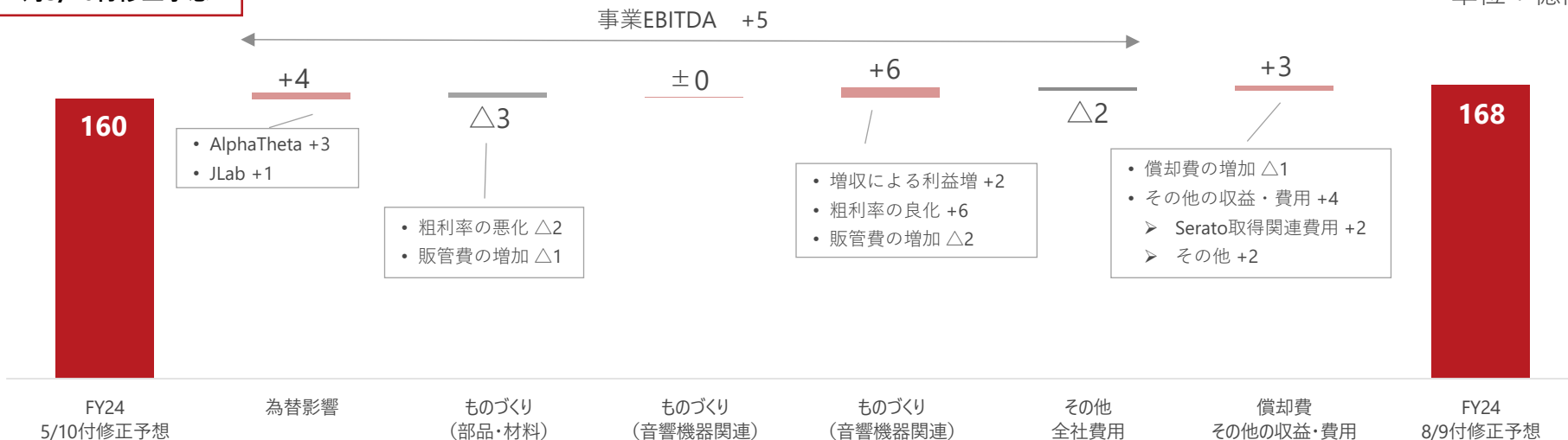


## 対前期

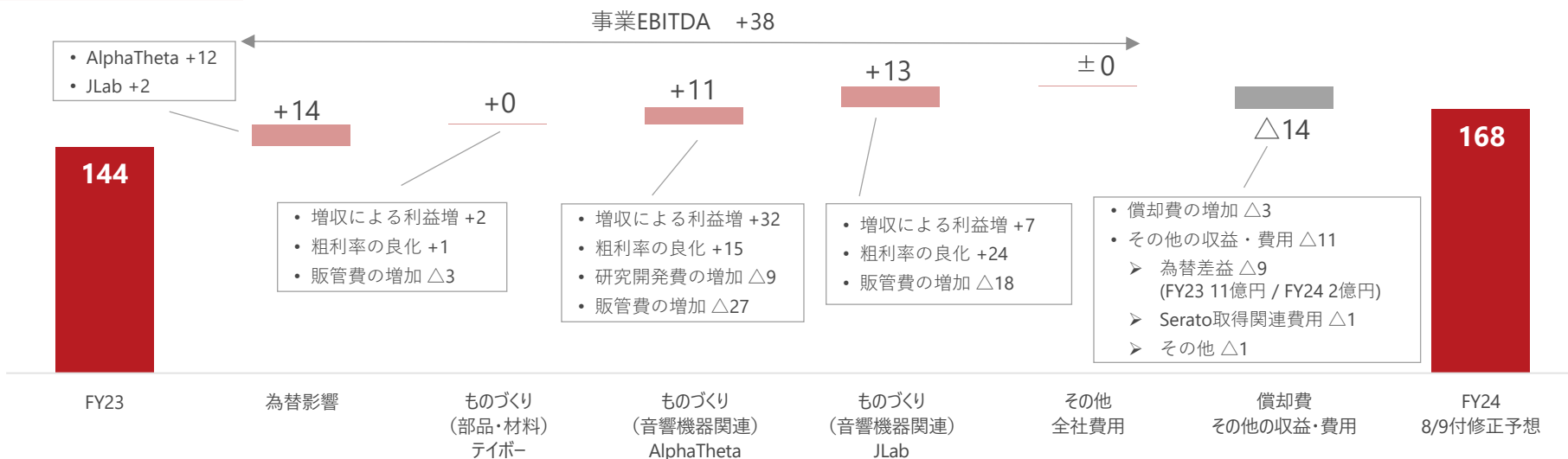


単位：億円

## 対5/10付修正予想

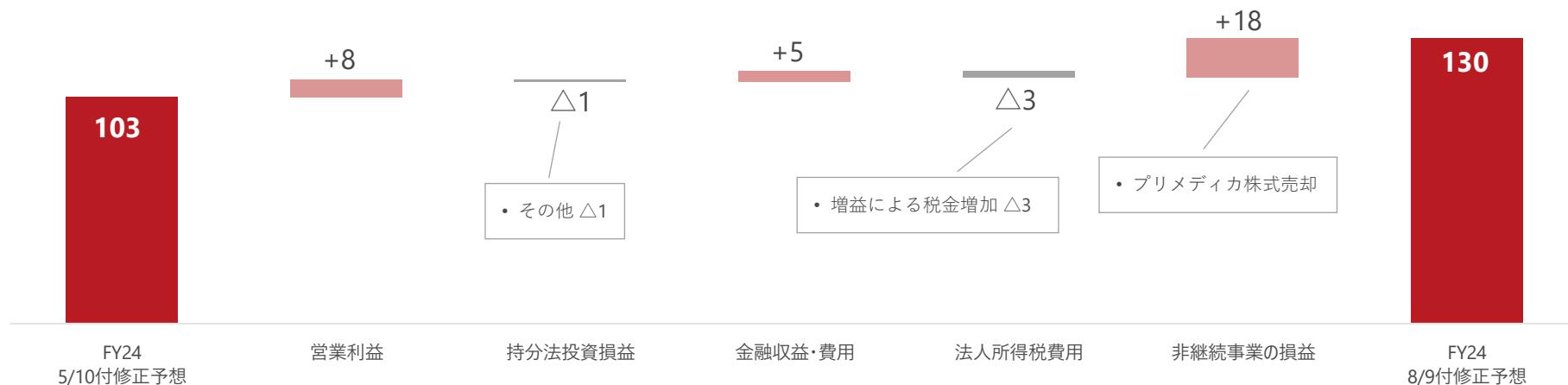


## 対前期

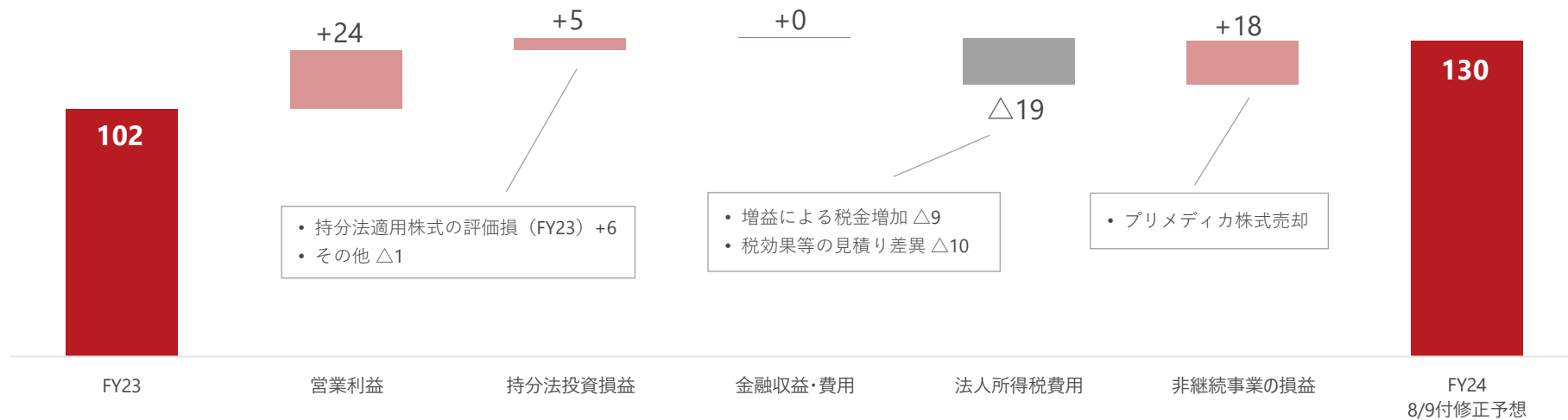


## 対5/10付修正予想

単位：億円



## 対前期



# Contents

1. FY24 2Q累計連結業績
2. FY24 通期連結業績予想
3. トピック

- 2024年6月、2年目となる「統合報告書2024」を発行
- 2年目の「統合報告書2024」では、当社グループの経営方針、事業の現況、成長戦略、社会的価値の創出やサステナビリティへの取り組み等について、情報を充実化

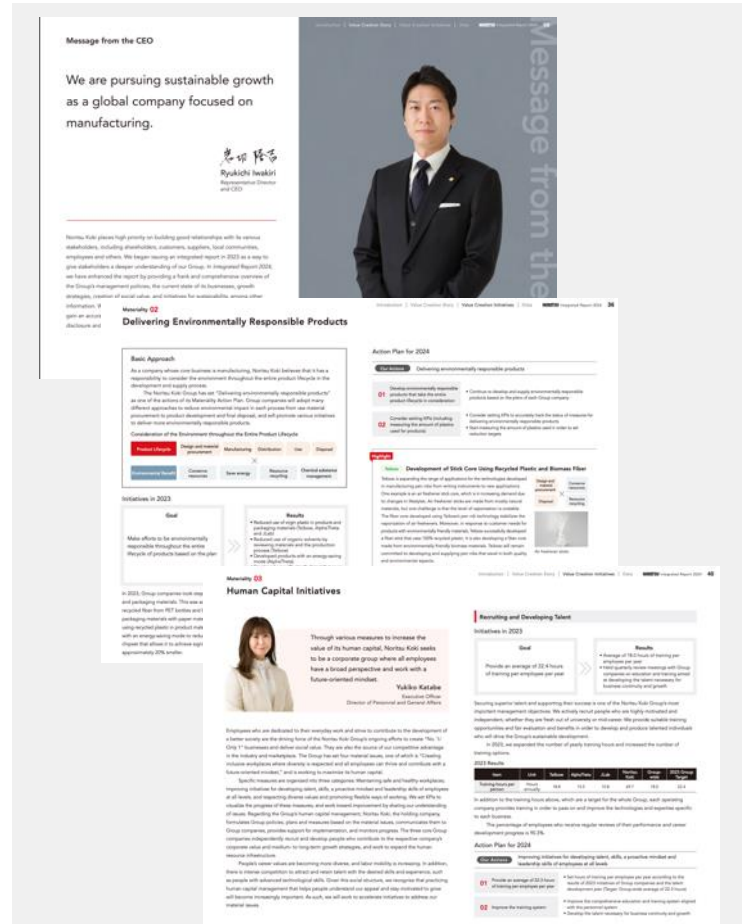
< 統合報告書2024 > ※日・英ともに公開済



日本語版



英語版



- 2024年5月、EcoVadis社のサステナビリティ評価で上位35%に授与されるブロンズメダル獲得
- 2024年6月、経済産業省 資源エネルギー庁「事業者クラス分け評価制度（2023年度提出分（2022年度実績））」において、省エネ優良事業者（Sクラス）に認定

## <EcoVadis社について>



EcoVadis社は、世界180か国、220業種、13万社以上のサステナビリティについて評価している機関です。  
[https://recognition.ecovadis.com/PZhQ9q0d6UG1smkF\\_9sLMA](https://recognition.ecovadis.com/PZhQ9q0d6UG1smkF_9sLMA)

## <事業者クラス分け評価制度について>

省エネ法の定期報告を提出する全ての事業者をS・A・B・Cの4段階にクラス分けしています。

- Sクラス — 省エネが優秀な事業者（目標達成事業者）
- Aクラス — 省エネの更なる努力が期待される事業者（目標未達成事業者）
- Bクラス — 省エネが停滞している事業者（目標未達成事業者）
- Cクラス — Bクラスの中でも注意を要する事業者（目標未達成事業者）

- 2024年5月、「人とくるまのテクノロジー展 2024 YOKOHAMA」に出展
- 2024年6月、大阪産業創造館で開催の「香りの技術・原料展2024」に出展

## <人とくるまのテクノロジー展>

新たなチャレンジとなる大型MIMのサンプルも展示



## <香りの技術・原料展2024>

芳香剤スティック芯などを展示





- 2024年4月、OPUS-QUADが iF Design Award 2024 と Red Dot Design Award 2024 を受賞
- 2024年5月、DJのライフスタイルを支援するDJソフトウェア rekordbox ver. 7.0.0 をローンチ

## < OPUS-QUAD >



プロフェッショナルオールインワンDJシステム「OPUS-QUAD」が、国際的に権威のあるデザイン賞の「iF Design Award 2024」及び「Red Dot Design Award:Product Design 2024」を受賞。OPUS-QUADは、「シカゴ・グッドデザイン賞 2023」も受賞しており、続いての受賞となりました。

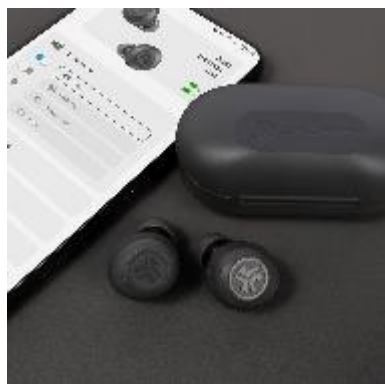
## < rekordbox ver.7.0.0 >



世界中のプロフェッショナルDJを中心に高い評価を得てきたrekordboxが、AI・クラウド・自動化技術を取り入れドラスティックに進化。今回のメジャー・バージョンアップでは、処理負荷の低減などパフォーマンスの大幅な向上を実現。

- 2024年4月、OTC補聴器 & イヤホン（Hear OTC）を発売
- 音響機器関連事業「JLab」の製品が、日本でも大手家電量販店「ヨドバシカメラ」など実店舗でも販売を開始

< OTC補聴器 & イヤホン（Hear OTC） >



< JLab製品が日本でも実店舗で販売開始 >



現在日本ではAmazon・楽天など大手ECを中心に、ギフトモールやアパレルショップ、ヨドバシカメラなど実店舗でもJLabの製品をご購入いただけるようになりました。

# Appendix

- 米ドル及びユーロ取引が多いAlphaTheta及びJLabで影響あり
- 円安はグループ全体では営業利益プラスの影響

## 概要

### テイボー

- グローバルで販売及び仕入ともに円貨取引が基本のため**対米ドル、対ユーロともに影響は僅少**

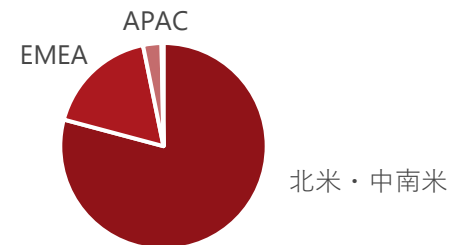
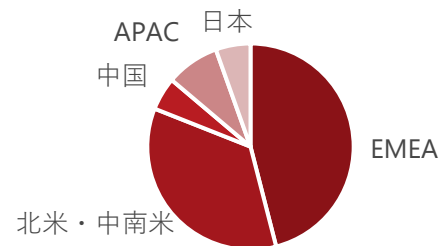
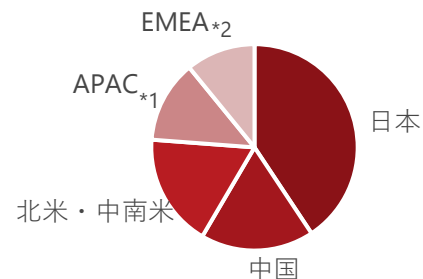
### AlphaTheta

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- EMEAの売上収益が大きいため、**対ユーロで円安は利益プラス**
- 北米を中心とする米ドルでの売上収益が仕入をやや下回るため、**対米ドルで円安は利益マイナス**

### JLab

- 販売は各地域通貨を基本とし、仕入は米ドル
- 米国の売上収益が大きいため、**対米ドルで円安は利益プラス**
- 米国以外は売上収益がまだ小さいため影響は軽微

## FY23 地域別売上収益構成比



\*1 APACは、アジア、オーストラリア（日本、中国を除く）

\*2 EMEAは、ヨーロッパ、中東、アフリカ

為替の通期連結業績への影響は以下のとおり

※2024年8月9日更新

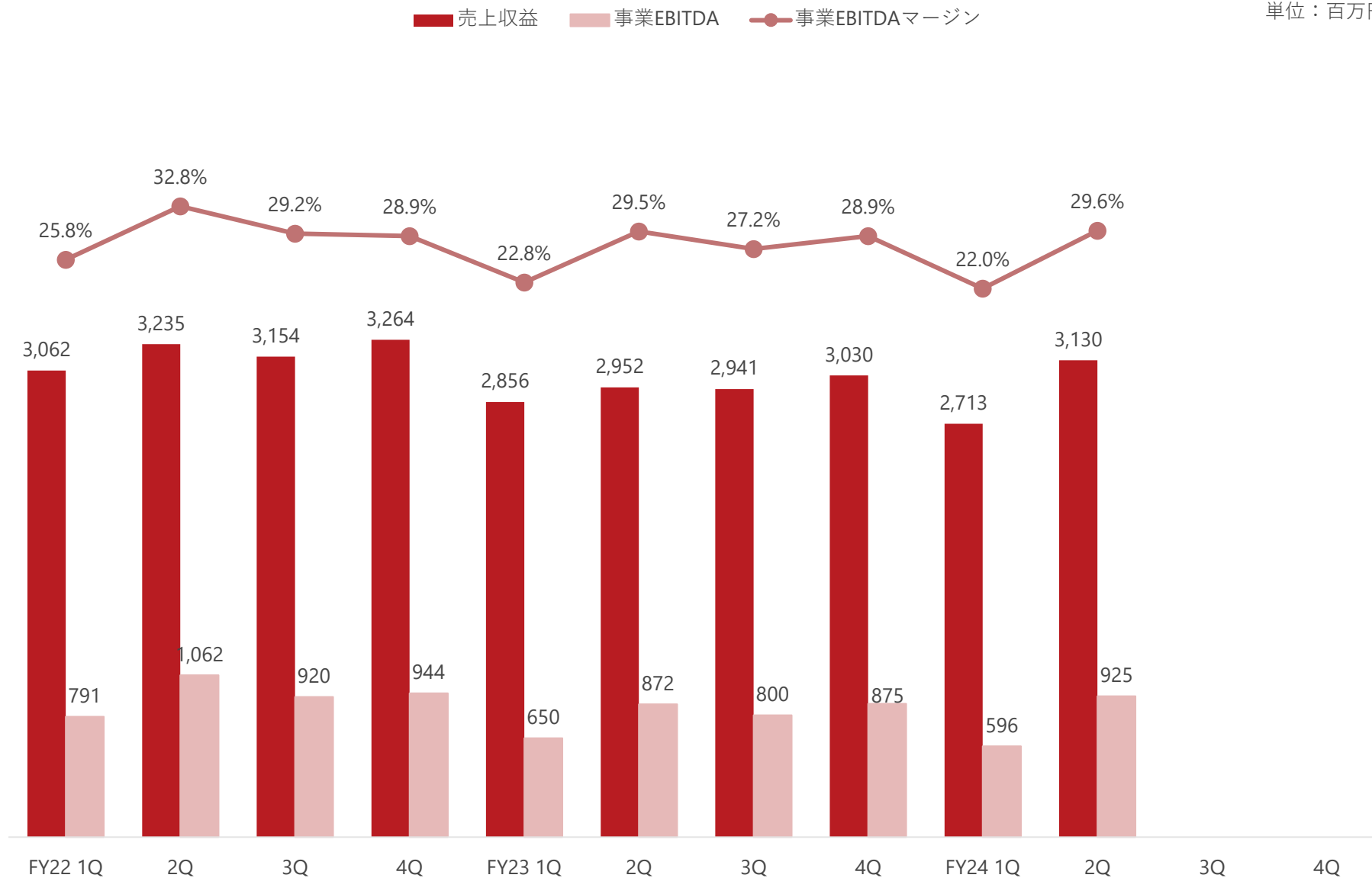
## 為替レート（平均）の1円円安による影響額

通貨	FY24予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	148.6円	+3.7億円	+0.1億円	+0.1億円
ユーロ	161.3円	+1.6億円	+1.4億円	+1.4億円

## 為替レート（期末）の1円円安による影響額

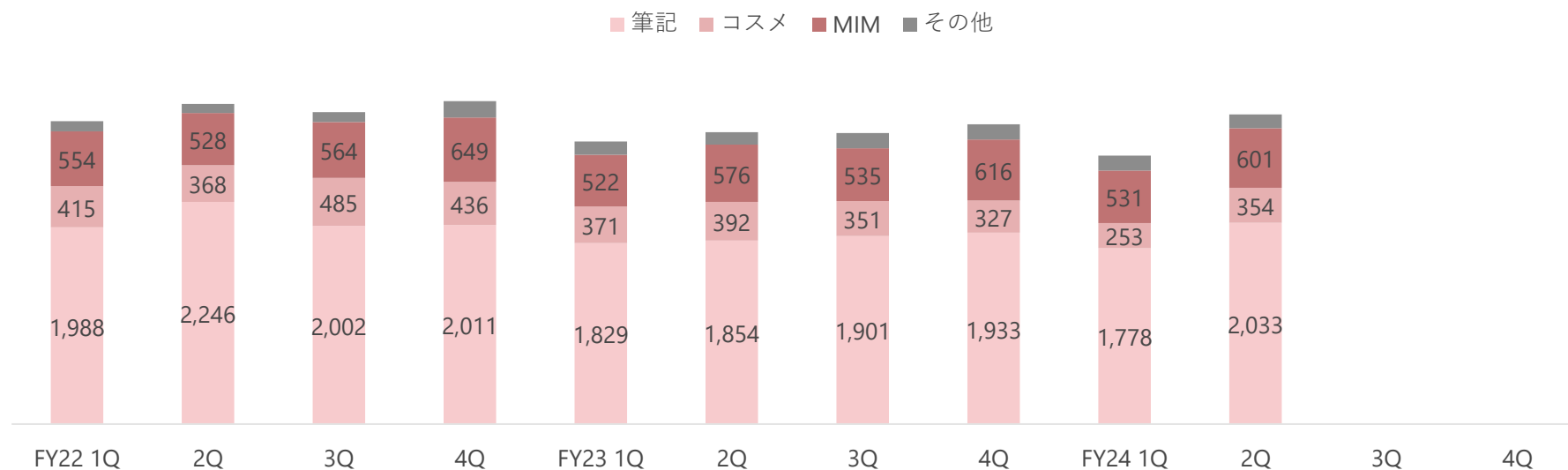
通貨	FY24予想 為替前提	売上収益	事業EBITDA	営業利益
米ドル	145.0円	-	-	+0.5億円
ユーロ	158.0円	-	-	+0.9億円

単位：百万円



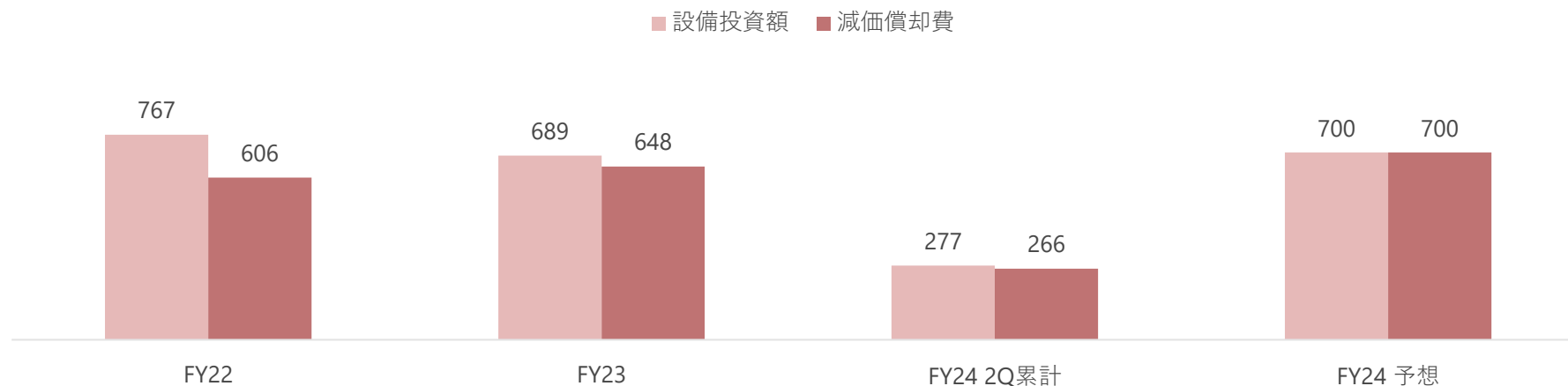
カテゴリ別売上収益推移

単位：百万円



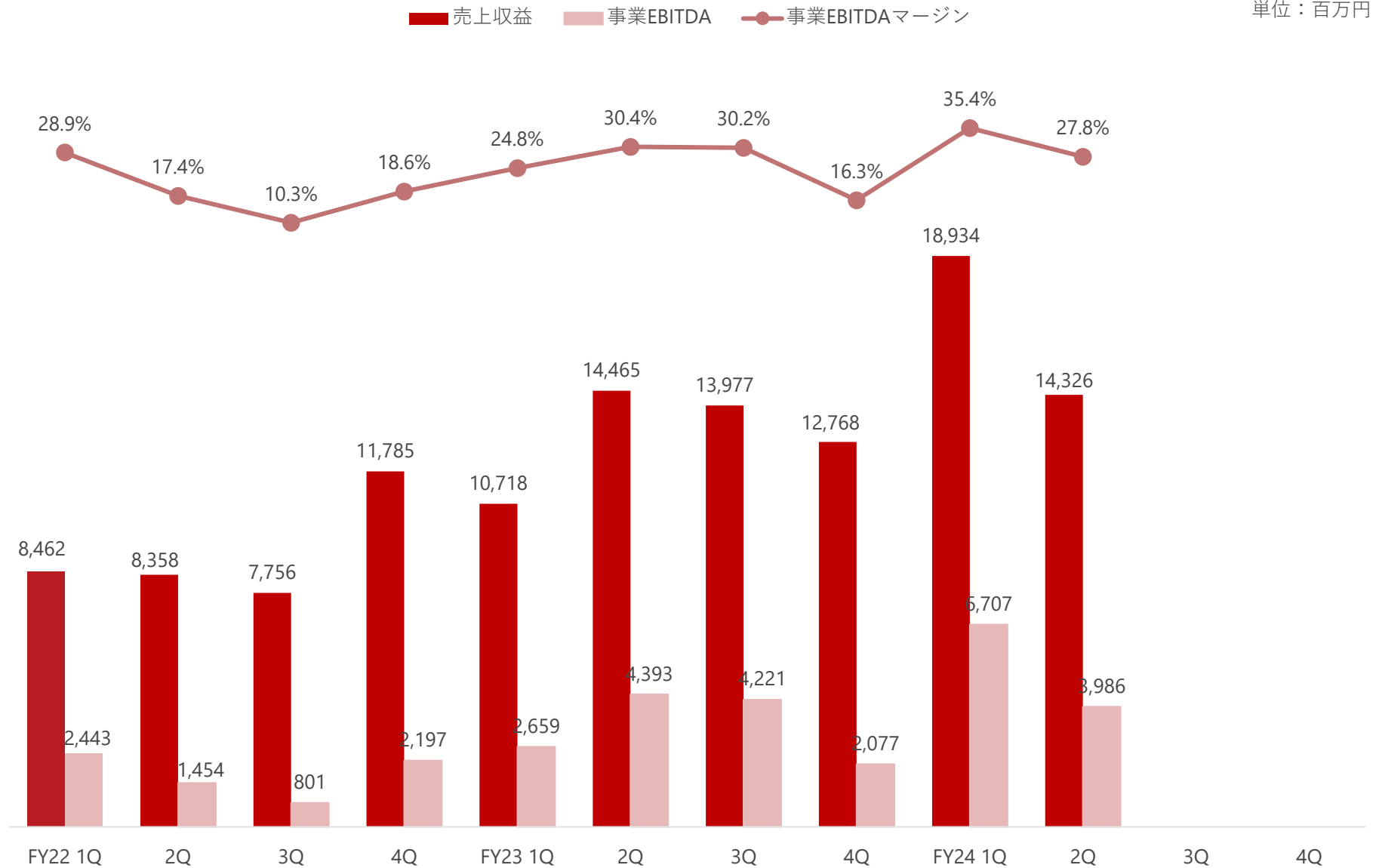
設備投資・減価償却費<sup>\*1</sup>

単位：百万円



\*1 使用権資産に係る償却費及びPPAの償却費を除く

単位：百万円



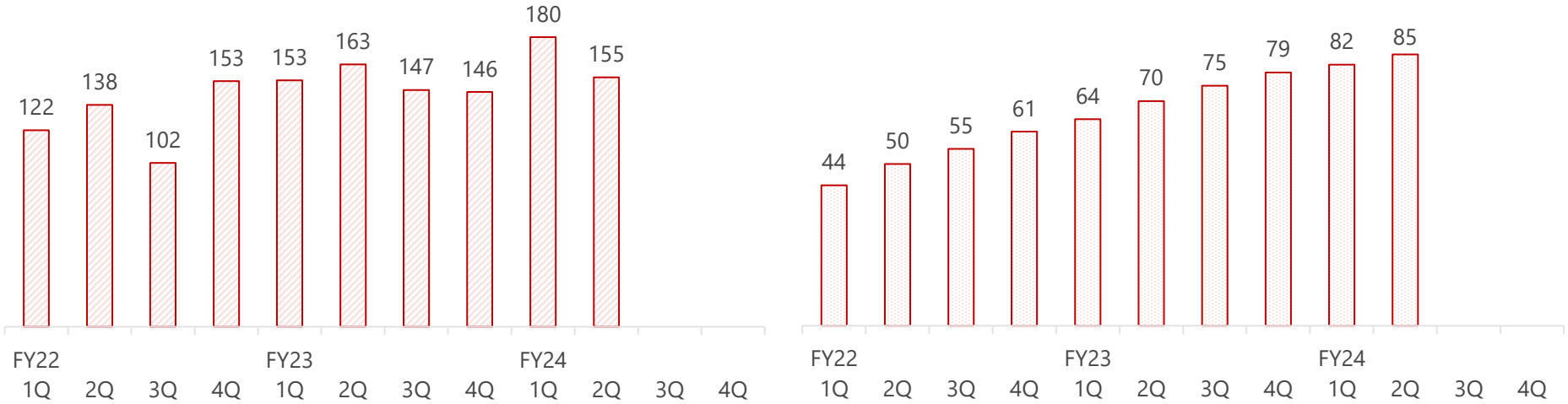


DJ機器出荷台数

単位：千台

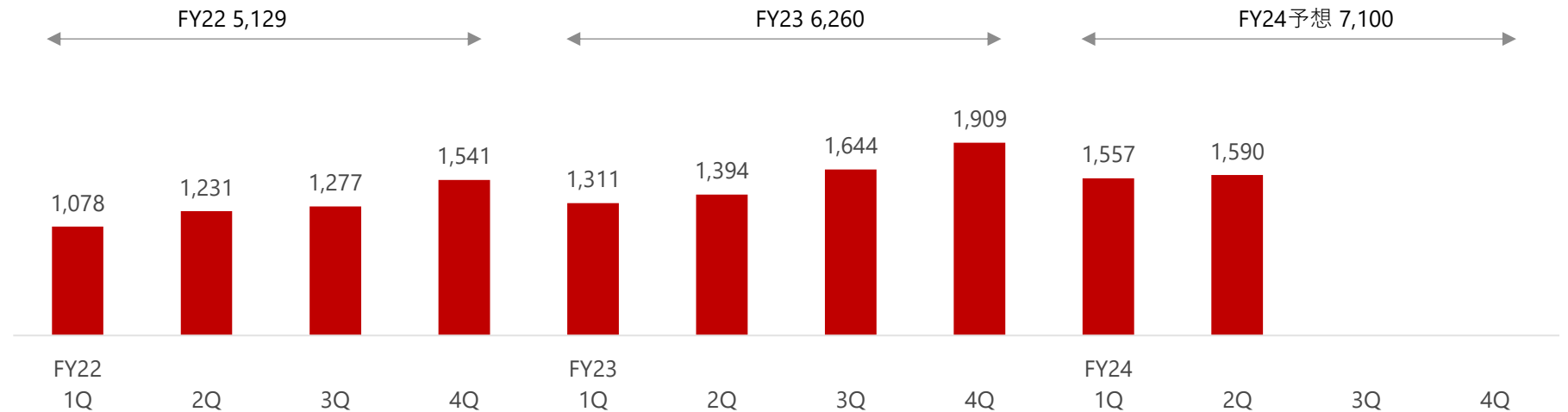
DJ向けアプリケーションMAU

単位：万人

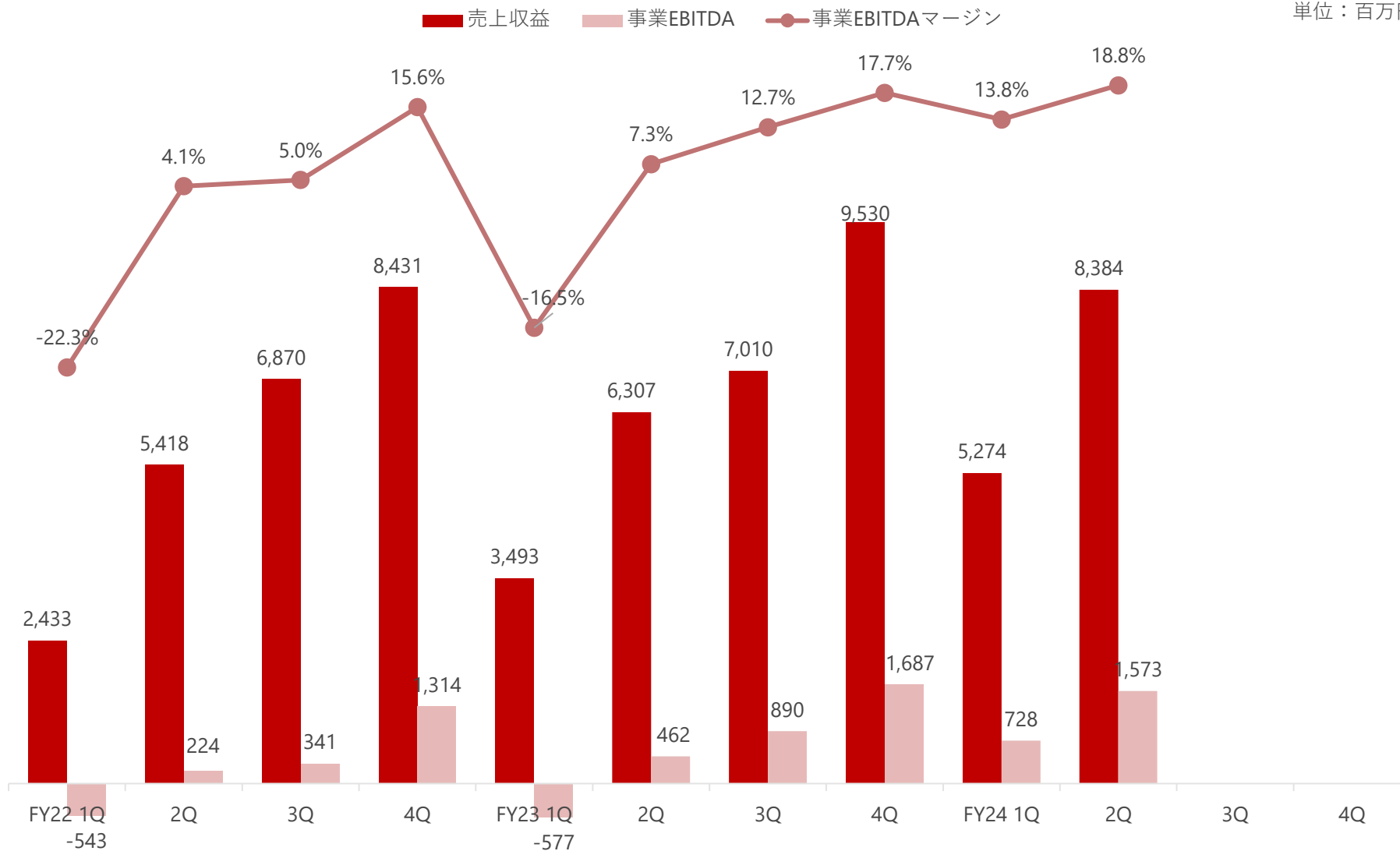


研究開発費

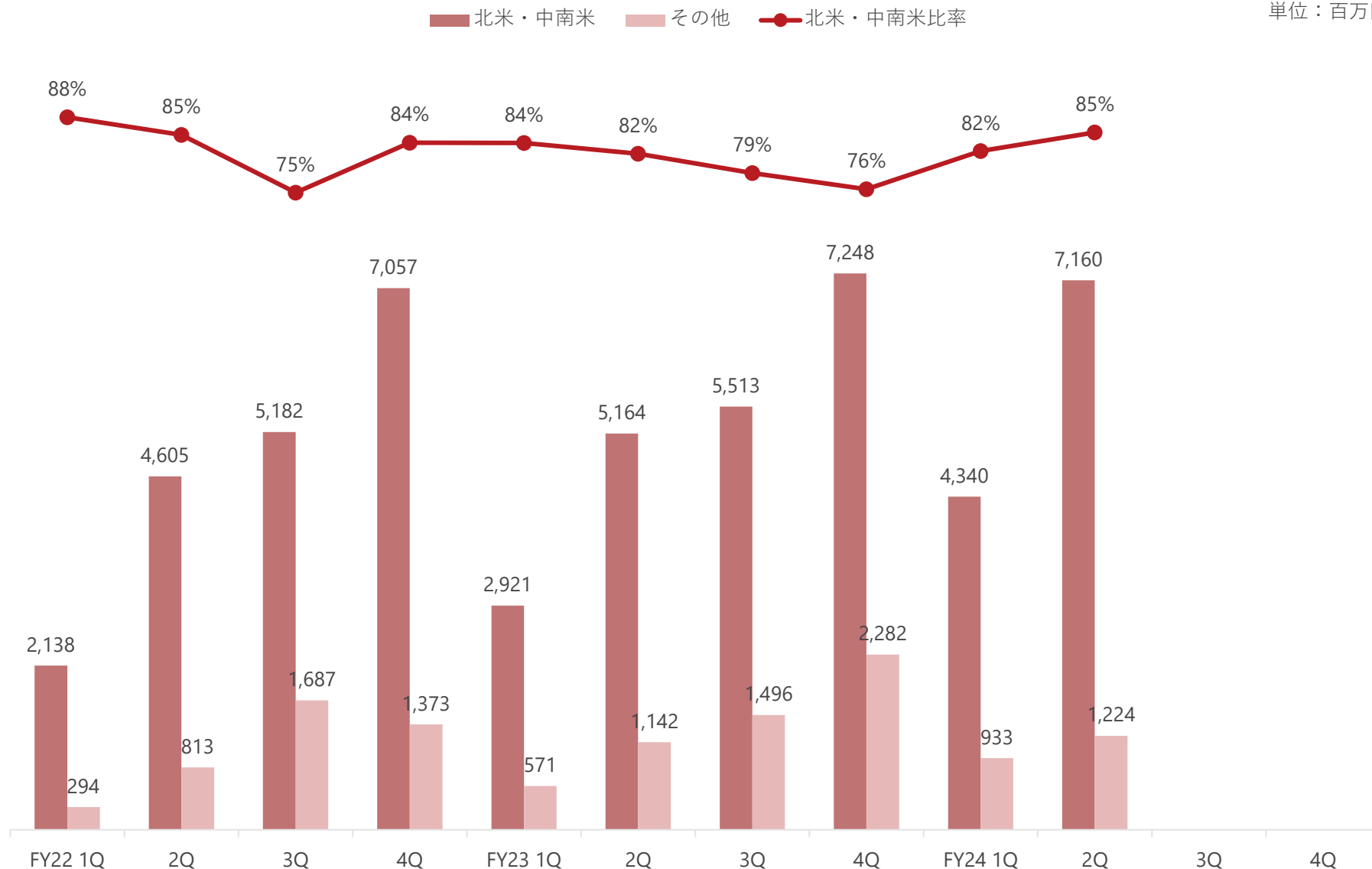
単位：百万円



単位：百万円



単位：百万円



社名 ノーリツ鋼機株式会社（プライム市場：7744）

代表者 代表取締役CEO 岩切 隆吉

創業 1951(昭和26)年6月

設立 1956(昭和31)年6月

資本金 7,025,302,000円

本社 東京都港区麻布十番1-10-10 ジュールA 5階

取締役 岩切 隆吉

取締役  
(監査等委員)

太田 晶久

横張 亮輔

伊庭野 基明

村瀬 和絵

高田 剛

## 部品・材料

先端及び極小部材の製造事業

### テイボー株式会社

**会社名** テイボー株式会社  
**代表者** 代表取締役社長 河内清志  
**資本金** 50百万円  
**主要株主** ノーリツ鋼機株式会社  
**事業内容** 筆記分野ペン先部品（フェルト、合成繊維、プラスチック）、非筆記分野、先端部材、MIM製造部品、コスメ用ペン先部材（合繊芯、プラスチック芯、ポリブチレンテレフタレート樹脂（PBT）ブラシなど）等の製造・販売

#### ■グループ会社

**泰宝制筆材料(常熟)有限公司**（テイボー100%子会社）  
 ・マーケティングペン先部品の中国（江蘇州）における製造・販売拠点

**株式会社 soliton corporation**（テイボー100%子会社）  
 ・コスメ用ペン先部材の製造・販売

## 音響機器関連

音響、音楽制作機器の商品開発事業

### AlphaTheta株式会社

**会社名** AlphaTheta株式会社  
 （旧Pioneer DJ株式会社）  
**代表者** 代表取締役社長 片岡芳徳  
**資本金** 1億円（2021年12月31日現在）  
**主要株主** ノーリツ鋼機株式会社  
**事業内容** DJ/CLUB機器、業務用音響機器、音楽制作機器の商品開発・設計・及び販売、ならびにそれらのサービスに関する事業

#### ■販売子会社

**AlphaTheta EMEA Limited**  
**AlphaTheta Music Americas, Inc.**  
**AlphaTheta (Shanghai) CO., Ltd.**  
**AlphaTheta SG Pte. Ltd.**

## 音響機器関連

パーソナルオーディオデバイス製品事業

### PEAG, LLC dba JLab

**会社名** PEAG, LLC dba JLab  
**代表者** Winthrop Cramer, CEO  
**資本金** 19M USD（2023年3月31日現在）  
**主要株主** ノーリツ鋼機株式会社  
**事業内容** パーソナルオーディオデバイスおよびテクノロジー製品の設計及び販売